

～尾道市のボランティア団体を地域別に紹介～

令和元年度

ボランティア応援ブック

～ みんなで やって みようや ～

出会い
ふれあい
ささえあい



尾道市ボランティアネットワーク
尾道市ボランティアセンター

社会福祉法人 尾道市社会福祉協議会

はじめに

この「ボランティア応援ブック」は、ボランティアに関心のある方に、活動へのはじめの一步を踏み出してもらえるよう、尾道市全域のボランティア団体の活動を紹介したものです。地域ごとに紹介していますので、お近くのボランティア活動にぜひご参加ください。ボランティア活動で一人ひとりの想いを形にしてみませんか。お待ちしております。

尾道市ボランティアネットワーク

も く じ



◎加入団体一覧表	2
◎旧尾道地域	3～10
◎御調地域	10～12
◎向島地域	13～16
◎因島地域	17～20
◎瀬戸田地域	21
◎ボランティア！入門編	23～25
◎ヤングボランティアスクール	26
◎ボランティア！活動・発展編	27～31
◎参考資料	32～34

「もっと詳しく知りたい！」あなたへ

お問い合わせ先は次の通りです。

各ボランティア団体のある地域の社会福祉協議会へお問い合わせ下さい。

旧尾道地域 ⇨ 尾道市社会福祉協議会 ☎0848 (22) 8385
(総合福祉センター内)

御調地域 ⇨ 尾道市社会福祉協議会御調支所 ☎0848 (76) 1231

向島地域 ⇨ 尾道市社会福祉協議会向島支所 ☎0848 (45) 2113

因島地域 ⇨ 尾道市社会福祉協議会因島支所 ☎0845 (22) 6562

瀬戸田地域 ⇨ 尾道市社会福祉協議会瀬戸田支所 ☎0845 (27) 3846

表紙イラスト：尾道市役所 中濱 昌二 さん

尾道市ボランティアネットワーク 加入団体一覧表

令和元年5月1日 現在

区分	種類	旧尾道	御調	向島	因島	瀬戸田
技術V	1 朗読	ひびき会	ひばり会	ともしび	なぎさ会	
	2 点字	尾道点字サークル		きすな		
	3 手話	つくし	ひよこ	高見		
		たんぼぼ				
	4 要約筆記	さくら	キンモクセイ	しまなみ		
5 パソコン教室	障がい者パソコンV					
よろずV	6 車椅子・疑似体験			たんぼぼ		
音楽V	7 音楽リハビリ			あひる		
介助	8 介助	どんぐりの会		はなみずきの会	因島やすらぎ 赤十字奉仕団	
		尾道認知症の 人と家族の会				
子育て	9 子育て支援	おのママ サポーターズ	子育てほっと サポート			
読み聞かせ	10 読み聞かせ	ルピナス	おはなしラッコ	潮風おはなし クラブ	さざなみ会	
		なのはな 尾道子どもの 本を読む会				
精神V	11 心の相談	コスモス			なないろ	元気会
施設訪問	12 福祉施設活動					
その他	13 その他	抹茶V おりづるの会			いづみ会	しまおもい 健康生活ネットワーク
		ほおすきの会				
NPO法人					NPO遊喜の会 しまなみ スポーツクラブ	
合計団体数 (38)		15	5	8	8	2

※技術ボランティアとは、一定期間それぞれのボランティア学習内容を講習し、修了したボランティアのこと

朗読録音ボランティアグループ ひびき会

[代表者] 山口 俊子
 [発 足] 1976（昭和51）年10月
 [会員数] 27名
 [定例会] 第2・3・4水曜日
 [活動内容] 【録音テープ・CD作成】広報おのみち、



市議会だより、市社協だより、ひびきの窓、尾道新聞、新聞の社説とコラム、身障通信、ニューモラル、希望の図書等
 【社協の行事（福祉まつり）】

[PRメッセージ] 視覚障害者の希望にこたえて、CDや録音テープを作成しています。他にも、武田智子講師による朗読勉強会も行っています。自分自身を高めると共にボランティア活動への自信につながっています。自分の声でボランティアが出来ることは、嬉しいことです。

尾道点字サークル

[代表者] 正木 清美
 [発 足] 1975（昭和50）年3月
 [会員数] 23名
 [定例会] 毎月第4金曜日
 10:00～16:00



[活動内容] ①点字ボランティアは、目の不自由な方に「点字」を使って色々な情報をお届けする活動です。
 ②広報おのみち・市社協だよりの点訳、個人・団体の依頼による点訳。点訳月刊誌「ふれあい」編集。点字カレンダー作成。

[PRメッセージ] 視覚障害者の方々にとって、情報の入手の一つである点字は重要です。そのお手伝いができます。地味で根気がいりますが、やりがいもまた大きいです。

おのみち てんじ さーくる おのみち てんじ さーくる

手話サークルつくし

[代表者] 廣瀬 美子

[発 足] 1974（昭和49）年

[会員数] 25名

[定例会] 毎週木曜日 19:00～21:00

- [活動内容]
- 定例会：手話の学習、ろう者との親睦を深める（レクレーション行事、講演会、etc）
 - 各種大会・研修会への参加（耳の日大会、ろうあ者大会、県手連行事、㊦養成講座）
 - 手話通訳活動（式典、講演会、イベント、etc）
 - ボランティア活動（共同募金、福祉まつり、身障協会行事、V連）



[PRメッセージ] （笑顔）笑いがいっぱいの楽しいサークルです。喜怒哀楽を全身で表情豊かに表現してみましょ。尾道ろうあ協会と共に活動をしています。

手話サークルたんぽぽ

[代表者] 岩永 真澄

[発 足] 1983（昭和58）年4月

[会員数] 18名

[定例会] 毎週金曜日 10:00～12:00

- [活動内容]
- 定例会及び学習・交流。通訳活動。
 - 聴覚障害者団体及び諸団体と連携。
 - 学校の福祉ボランティア体験学習。
 - その他ボランティア活動。



[PRメッセージ] ろう者が参加してくださるので、交流しながら手話が学べます。

要約筆記サークルさくら

[代表者] 杉原 博美
 [発 足] 1994（平成6）年5月
 [会員数] 10名
 [定例会] 第1・第3土曜日
 [活動内容] 13:00～15:30



- 聴覚障害者理解と啓発
- 要約筆記技術の学習
- 聴覚障害者団体との連携・活動への協力
- 文字による情報保障（講演会・筆記通訳・字幕作成）
- 「耳マーク」や筆談の普及活動

[PRメッセージ] 要約筆記とは？（難聴者・中途失聴者・高齢難聴者など
 耳が聞こえにくい人に文字で伝える活動。）

- 筆談なら、誰でもすぐに始められます。
- PC・機器を使った方法もあります。
- まずは、来て、見て！
 一緒に手書きから始めませんか？

障がい者パソコンボランティア

[代表者] 村上 ^{あきな} 詮尚
 [発 足] 1998（平成10）年4月
 [会員数] 6名
 [定例会] 第4金曜日
 [活動内容]



- 障がい手帳所持者を対象に
 毎週金曜日に福祉センターでパソコンの初歩を指導する。
 （随時受け付け有り）
- 個別のカリキュラムで対応する。
 （ワード・エクセル・インターネット）
- 戸別訪問で困っている事の相談にのる。

[PRメッセージ] みなさんのペースで楽しくパソコンを習いませんか。

ど ん ぐ り の 会

[代 表 者]
[発 足]
[会 員 数]
[定 例 会]
[活 動 内 容]

杉森 眞佐美
1997（平成9）年8月1日
31名
毎月第1木曜日 13:30～15:30

- 高齢の方、障害のある方の社会参加のお手伝いをしています。
- 障害者福祉センター（チャレンジクッキング）教室の介助と一緒に活動し、手助けしています。
- 小学校、中学校で高齢者・視覚障害者の福祉体験学習を行い、福祉のこころを養う、お手伝いをしています。
- 商店街の空き店舗を利用した荒神堂サロンで来店者の皆さんと楽しくお話をしています（毎週水曜日担当）。



[PRメッセージ]

- 高齢者、障がい者と交流ができ、和やかな気持ちにさせてもらえます。
- 小中学生と一緒に福祉体験学習し、若いパワーがもらえます。
- 冗談も交え楽しく活動しています。

尾道認知症の人と家族の会

[代 表 者]
[発 足]
[会 員 数]
[定 例 会]
[活 動 内 容]

林原 みどり
1984（昭和59）年9月
32名
第2金曜日 10:00～15:00

- 会員の体験発表及び勉強会。
- 老人介護の相談・アドバイスをを行う。
- 関係団体との交流や施設見学、介護者のリフレッシュ旅行を企画。年6回の家族だより発行。



[PRメッセージ]

認知症も、高齢者だけでなく中年世代の問題にもなってきています。介護家族が一時でも安らげる支援を続けていきたいと思っています。（荒神堂サロン金曜日担当）

おのママサポーターズ

- [代表者] 烏尾 芳枝
 [発 足] 1998（平成10）年7月1日
 [会員数] 31名
 [定例会] 第1・3金曜日 10:00～12:00
 [活動内容]



- 市内に住む子育て中のお母さんの社会参加をサポート・援助しています。子どもさんを安心・安全を第一に預かり、子育て中のお母さんのニーズに合った質の良い保育活動が出来るように取り組んでいます。
- 尾道市総合福祉センターで行う、母子・父子センター・ブックスタート事業・児童センター・健康推進課などの講座に、参加して保育活動をしています。
- 市内で行われる、子育て支援センター・自主運営の子育てサロン・イベントなどに出向いてサポート。
- 幼稚園・小学校PTA行事など見守りなどサポートをしています。

[PRメッセージ] 私たち「おのママ」は、赤ちゃん大好きな人たちが集まったサークルです。空いた時間を自己申告しボランティア活動に、皆で楽しく参加しています。おのママのモットーは、会員同士の『和』です。

読み聞かせ

おのみち学校で本を読む会「ルピナス」

- [代表者] 宮本 美津子
 [発 足] 1998（平成10）年9月
 [会員数] 23名
 [定例会] 第2・第4土曜日
 [活動内容]
- 小学校、特別支援学校へ出向き、読み語りをしています。



[PRメッセージ] 授業の時間内で本の楽しさ・すばらしさを伝える読み語りをしています。絵本・児童書の話をするときの会員の目は、輝いています。

読み聞かせ

ブックスタート読み語りボランティア「なのはな」

- [代表者] 本山 真里
[発 足] 2018（平成30）年3月1日
[会員数] 16名
[定例会] 第4金曜日 10:00~12:00
[活動内容] 尾道ブックスタート事業（ブックスタート、ブックスタート・プラス、ブック・ステップアップ）で、絵本の読み語りを行ない、よい本を手渡すボランティアとして協力支援しています。



[PRメッセージ] おひさまの光やそよ風とハーモニーを奏でているなのはなのように、優しく温かくいつも笑顔で、絵本を読み語り、手渡しています。

読み聞かせ

尾道子どもの本を読む会

- [代表者] 堀 純子
[発 足] 1979（昭和54）年4月
[会員数] 8名
[定例会] 第1土曜日
[活動内容] ● 毎月1回おはなし会。（第3土曜日）
● 子育て支援行事参加。
● 地区のふくしまつり等で、絵本紹介・読み聞かせコーナーを担当。



[PRメッセージ] どんな本がどの年齢に適しているか、今の親世代へ伝えていく活動をこれからも継続していきたいです。

傾聴ボランティア コスモス

- [代表者] 新谷 恵
 [発 足] 1993（平成5）年11月1日
 [会員数] 30名
 [定例会] 第1木曜日 13:30～15:30
 [活動内容]



- 総合福祉センターにて、心の悩みごと相談担当。
- 老人施設での傾聴 ● 荒神堂サロン「何でも話して！」
- 焼き肉パーティやクリスマスパーティ・もちつき等で交流をしたり、年に2～3回傾聴・ロールプレイなどの勉強会をしている。また、先進地の視察をし、見聞を広める。

[PRメッセージ] 年間自殺者は年々減っているものの、うつ病、ひきこもりがちな人は増えています。家から出て新しい出会いと夢を持ち、新しい自分探しをしてみませんか。会員加入大歓迎、会員が仲の良いことこの上なし。

その他

抹茶V「おりづるの会」

- [代表者] 太田 桂子
 [発 足] 1996（平成8）年9月
 [会員数] 8名
 [定例会] 第1・3火曜日 荒神堂サロン
 [活動内容]
- 高齢者総合ケアセンター
 - 星の里喫茶ボランティア、夏祭りボランティア
 - 障害者センター抹茶クラブ
 - 児童センター抹茶を楽しもう
 - 小学校放課後子供教室お茶作法
 - 福祉センター内V交流会等の抹茶コーナー



[PRメッセージ] 小さな会ですがコツコツとやってきました。「抹茶をいただくと気持ちが落ち着く」と言ってくれます。ホッとした一時を、ともに過しています。あなたも仲間になりませんか。

ほおずきの会

- [代表者] 平田 義子
 [発 足] 1997（平成9）年6月
 [会員数] 10名
 [活動内容]
- 福祉レクリエーション研修会受講。
 - 手芸創作活動サークルとして、ふれあいサロンや地区のふくしまつり、小学校等で、講師として活動。



[PRメッセージ] 押し絵・干支の飾り・染色・わらじ作り等、なにを作ろうかなと、工夫を考えることも頭の体操になります！

朗読録音ボランティア「ひばり会」

- [代表者] 宮里 紀子
 [発 足] 2003（平成15）年6月
 [会員数] 10名
 [定例会] 毎月第2・4木曜日
 [活動内容]
- 会員持ち寄りの情報（新聞雑誌のニュース・コラムや読物、自作のエッセイ）を朗読した声の広報「ひばり」のCDの配布
 - 会員相互での研修（CD作製の技術研修と朗読研修）
 - 講師を招聘しょうへいしての朗読研修。



[PRメッセージ] ささやかでも自分にできる事に参加してみる。まず自分が楽しめなければ他人も楽しくないだろう。小休止しながらでもお互いを支えあって続けていこう。

みつぎ手話サークル「ひよこ」

[代表者] 清川 英子
 [発 足] 1997（平成9）年8月1日
 [会員数] 13名
 [定例会] 毎週金曜日 20:00～21:00
 [活動内容] みつぎいこい会館



- 手話の勉強会・交流会
- 毎年10回シリーズで市民対象手話講習会
- 各種大会・研修会へ参加
- 中学校の総合学習の一環としての手話学習会
- 地区の福祉大会で手話広報活動
- 地域のボランティア活動

[PRメッセージ] この世の中にはいろいろな人がいてあたりまえ。どんな人も平等にしあわせに暮らせる権利がある。私たちは、その中でも聴覚障がい者に心を寄せて、明るく！楽しく！をモットーに活動しています。仲間におはいい下さい。

御調要約筆記 キンモクセイ

[代表者] 金野 惇子
 [発 足] 2005（平成17）年12月
 [会員数] 3名
 [定例会] 毎月第2・4水曜日
 [活動内容]



- 地元御調を中心に、依頼を受けた講演・研修などの要約筆記をする。
- 学校から、体験学習や出前授業の要請を受けた場合、対応する。

[PRメッセージ] 会員が少なく、充実した活動に不安もあるなかで、地元での講演で練習を積み、地元のみなさんに親しまれ、頼られる「要約筆記」を目指していきます。
 一緒に活動してくださる方、お待ちしております。

子育てほっとサポート

- [代表者] 西原 利恵子
 [発 足] 2003（平成15）年7月
 [会員数] 10名
 [定例会] 年3回
 [活動内容]
- 団体託児（0歳～未入园児）
 - 講演会や離乳食講習会の時の団体託児活動。
 - ヤングボランティア（高校生）の託児体験セミナー実施と交流。
 - 定例会及び視察・研修の実施。



- [PRメッセージ] ママも子どもも「ほっ」としてもらえるような、託児を目指しています。
 子どもが好きな方、ぜひ一緒に活動してみませんか。

おはなしラッコ

- [代表者] 和田 淳子
 [発 足] 2005（平成17）年4月
 [会員数] 8名
 [定例会]
 [活動内容]
- ブックスタート及びブックスタートプラス・ブックステップアップ事業での赤ちゃんへの読み聞かせ活動・お母さんに赤ちゃん絵本の紹介
 - 研修、交流会への参加



- [PRメッセージ] 「地域が子育てを応援してますよ！」というメッセージを添えて、赤ちゃんとママに絵本を紹介し、プレゼントする「ブックスタート」事業のお手伝いをしています。赤ちゃんが絵本をじっと見つめる、その表情にいつも心動かされます。一緒に絵本を読んでくださる方、募集中です。

朗読ボランティア ともしび

- [代表者] 吉川 朋子
 [発 足] 1980（昭和55）年3月
 [会員数] 10名
 [定例会] 毎月5日 13:30～15:30
 [活動内容]
- 広報・各たより（議会・社協・公衛協）のCD及びテープ作成・宅配
 - 声のたよりCD・テープ作成・宅配
 - 図書のCD・テープ作成・宅配
 - 利用者の希望図書のCD作成・宅配
 - 視覚障害者と語る交流会 ● 勉強会（CD収録技術・朗読）
 - 小・中学校の福祉体験（総合学習）支援
 - むかいしま健康・福祉まつり参加（ブース担当）



[PRメッセージ] 視覚障害者のご希望を大切に！
 グループのみなさんのボランティア意識も高く、みんなの和で
 楽しく活動が続いています。新入会員大歓迎です。

向島点字サークル「きずな」

- [代表者] 松本 智恵子
 [発 足] 1980（昭和55）年3月
 [会員数] 8名
 [定例会] 毎月10日
 [活動内容]
- 広報・花あかりの点訳
 - 身障通信の点訳
 - 点訳本の作成（月1回）
 - 親子ふれあい体験学習、総合学習、中途視覚障害者への点字支援等



[PRメッセージ] 楽しいアットホームなこじんまりとしたサークルです。
 6点に愛を込めて、視覚障害者へ点訳を届けています。

向島手話サークル「高見」

- [代表者] 玉里 幸江
 [発 足] 1981（昭和56）年
 [会員数] 21名
 [定例会] 毎週水曜日 19:30～21:00
 [活動内容]
- 手話講習会（初心者）、手話学習会（サークルメンバー）
 - 地域の体験学習、学校の総合学習
 - 講演会の手話通訳
 - 派遣手話通訳



[PRメッセージ] ろう者を中心にしたアットホームなサークルです。手話を学ぶことで世界が広がります。ボランティアは自分磨きだと思って楽しく活動しています。ぜひ、一緒に輝きましょう。

要約筆記Vしまなみ

- [代表者] 安保 キミコ
 [発 足] 2001（平成13）年6月
 [会員数] 7名
 [定例会] 毎月第4火曜日
 養成講座 毎月第2・4火曜日
 19:30～21:00
 [活動内容]
- 要約筆記ボランティア養成講座10回、各講演、健康福祉まつり、ヤングボランティア体験学習、要約筆記パソコン講座



[PRメッセージ] 聴覚障害者とのコミュニケーション派遣依頼などで頑張っています。みんな楽しく要約筆記をやってます。ぜひ遊びに来てください。



たんぽぽ

- [代表者] 高地 幸男
 [発 足] 1996（平成8）年6月10日
 [会員数] 22名
 [定例会] 毎月第2月曜日 9:30～
 [活動内容]
- 老人福祉施設で喫茶介助、清掃
 - 介護補助や小中学校への出前講座
 - 車イス体験学習
 - 町内の花壇の花植え等管理に関すること。



[PRメッセージ] 笑いある楽しいグループです。あなたも仲間になりませんか。お待ちしております。

音楽ボランティア あひる

- [代表者] 杉原 悠紀子
 [発 足] 1996（平成8）年1月
 [会員数] 16名
 [定例会] 毎月第2・4火曜日
 10:00～11:00
 [活動内容]
- 毎月第2・4火曜日に高齢者施設を1時間程訪問し、歌を歌ったり、歌のレクリエーションを行っている。



[PRメッセージ] 「共に楽しむ」を合い言葉に頑張っています。施設の活動を通して、私達も元気ももらっています。どなたでも会員になれます。会費もありません。一緒に楽しく活動しましょう。

はなみずきの会

- [代表者] 宗近 萬喜子
 [発 足] 1993（平成5）年7月1日
 [会員数] 6名
 [定例会] 毎月第3水曜日 9:30～
 [活動内容]
- 福祉施設などでの手伝い
 - 小・中学校での福祉ボランティア体験学習の手伝い
 - 会員相互の親睦をはかる



[PRメッセージ] 共に汗を流してみたい人の入会を歓迎します。自分らのできる事を、できる時に、細く長く継続したいものです。

読み聞かせ

潮風おはなしクラブ

- [代表者] 信藤 直美
 [発 足] 1989（平成元年）年6月19日
 [会員数] 11名
 [定例会] 毎週火曜日
 [活動内容] (内 容)
- 絵本の読み聞かせ・紙芝居・ことばあそび・手あそび等
 (行き先)
 - 保育所・幼稚園・どうえん認定こども園・小学校・向島子ども図書館「わくわく」、子育て支援事業参加



[PRメッセージ] 「読書って楽しいんだよ」のキャッチフレーズのもとで、読書によって心豊かな子どもを育てることを目的とする。

朗読録音奉仕グループなぎさ会

- [代表者] 村上 京子
 [発 足] 1977（昭和52）年6月
 [会員数] 23名
 [定例会] 毎月17日
 [活動内容]
- コラム、声のたより、広報等を定期的に録音し、視覚障害者に郵送しています。
 - 図書館で対面朗読。
 - その他、福祉団体が開催する行事に協力。



[PRメッセージ] 仲良しグループです。
 朗読に興味のある方、ぜひご入会ください。
 お待ちしています。

介 護

因島やすらぎ赤十字奉仕団

- [代表者] 花岡 美香
 [発 足] 1998（平成10）年11月
 [会員数] 33名
 [定例会] 毎月第1水曜日
 [活動内容]
- 月3回市内にある6カ所の福祉施設を訪問し、介助やお手伝いや話し相手、お茶会をしています。



[PRメッセージ] 還暦、古希、喜寿、米寿と人生の旬に行く私達、ほたるの里、しまなみ苑、花園、オリーブハウス、デイサービス はばたき、笑顔の訪問を心掛け、楽しく色々勉強をさせていただいています。皆さんも一緒に活動してみませんか。

日立因島生協 ふれあいの会

- [代表者] 砂月 容子
 [発 足] 2002（平成14）年3月25日
 [会員数] 29名
 [定例会] 随時
 [活動内容] 掃除、洗濯、お墓の掃除、
 草取り、話し相手、通院介助、
 役所・銀行・買い物などの付添、お手伝い



[PRメッセージ] 組合員同士が日常のくらしを助け合うことを目的としてつくられました。援助希望会員、活動会員、賛助会員の参加で対等平等の立場で行われる新しい地域づくりをめざしています。

読み聞かせ

さ ざ な み 会

- [代表者] 村上 昌子
 [発 足] 2011（平成23）年4月
 [会員数] 11名
 [定例会] 第1火曜日 10:00～12:00
 [活動内容] ブックスタート、ブックスタート・
 プラス、ブック・ステップアップ開
 催日に、親子に読み聞かせをしています。



[PRメッセージ] 子育て中のお母さんと乳幼児達が、少しでも安らいだ表情、楽しい気分になってくれているのを見ると私達も幸せな気分になります。
 ご一緒に活動しませんか!!

な な い ろ

[代表者] 幡地 玲子
 [発 足] 2002（平成14）年5月
 [会員数] 10名
 [定例会] ハートステーションなないろ
 毎週火・木曜日



[活動内容] ● 精神障害を持っている方々がほっとできる空間づくりと交流。

[PRメッセージ] 2018年4月から、新しくできた『はっさく交流館（因島総合福祉保健センター）3F』に活動拠点が変わりました。
 広くて綺麗で日当たりの良い部屋で、利用者さんと一緒に音楽活動や手芸、おしゃべり等自由な時間を過ごしています。

そ の 他

い づ み 会

[代表者] 村上 弘二
 [発 足] 1973（昭和48）年9月
 [会員数] 585名
 [定例会] 総会（5月）
 [活動内容] 三役会（4回／年）
 役員会（3回／年）、グラウンドゴルフ交流会（春、秋）
 日帰り旅行、宿泊旅行、囲碁交流会、海外旅行
 工場内剪定・清掃奉仕作業



[PRメッセージ] 会員相互の交流と親睦を図ることを目的に、助け合いの心を閉ざさないために、各地区の役員さんが中心となり、会員の皆さんが集える時間を提供し、活動をしています。

NPO法人「遊喜の会」

[代表者] 村田 理恵
 [発 足] 2002（平成14）年12月
 [会員数] 45名
 [定例会] 随時
 [活動内容]

- 地域密着型の介護保険事業
- コミュニティーホール（カフェ・筋トレ）
- 講師依頼（介護保険制度について、認知症サポーター養成講座等）
- 出前福祉教室（各小中学校にて） ● ふれあい運動会（身体障害者）
- 相談（企業からの依頼） ● しまの輪カフェ参加 ● ラン伴参加
- 町内、各行事への参加（町民文化祭、クリーンキャンペーン、フラワーセンター花植え等） ● 家族の会への相談、参加



[PRメッセージ] 小規模多機能ホームの一室を地域の方々に開放しています。カフェ、筋肉トレーニングの機器があります。ご利用下さい。又、居宅介護支援事業所もあります。相談はいつでも、行っています。

しまなみスポーツクラブ

[代表者] 宮地 公一
 [発 足] 2002（平成14）年7月17日
 [会員数] 206名（男75名、女131名）
 [定例会] サークル代表者会議（4回/年）、
 理事会（3回/年）、総会（5月）

- [活動内容]
- スポーツサークル（ラージボール卓球、ミニテニス、バドミントン、ヨガ教室、グラウンドゴルフ、スナッグゴルフ、ターゲットバードゴルフ）
 - 文化サークル（コーラス、絵画教室、絵手紙、陶芸、囲碁、将棋、三庄サロン）
 - 普及振興部（因・瀬幼児サッカー大会（10月）、小学生スナッグゴルフ教室（10日/年）、カーブ観戦など）
 - 環境事業部（学校グラウンド、公園の芝生事業、因島ウォーキングロード、史跡等の整備事業）



[PRメッセージ] 趣味・スポーツを楽しみながら健康寿命の延伸とふる里因島の元気づくりに取り組んでいます。生きがいつくりや、やりがいつくりには皆さんの参加をお待ちしております。

元 気 会

[代表者] 杉原 八重子
 [発 足] 1998（平成10）年5月
 [会員数] 20名
 [定例会] 毎週月・金曜日
 10:00～15:00



[活動内容]

- 喫茶「ショロン」の運営
- 高齢者施設に週1回ボランティアに行く
- 町内・各行事手伝い
- 毎月第4金曜日「認知症カフェ」

[PRメッセージ] お茶を飲みながら歌ったり、おしゃべりをしたりして、楽しく過ごしています。ボランティア会員も楽しんでます。発足から21年、大勢の方々からご協力をいただいております。楽しい喫茶店です。お気軽にお立ち寄りください。

その他

しまおもい健康生活ネットワーク

[代表者] 小路 明美
 [発 足] 2016（平成28）年4月1日
 [会員数] 21名
 [定例会] 月2回



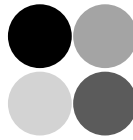
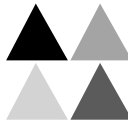
[活動内容]

- 子供達の心の健康づくりを願って、小・中学校へ花の生け込み、日本文化の体験
- 家庭菜園で無農薬野菜の講習会
- 毎月最終日曜日にフリーマーケット
- 旧瀬戸田町役場の跡地に地域の方と公園の花壇作り

[PRメッセージ] 健康長寿をめざして“あなたの笑顔と幸せを！”
 花を愛で楽しむことや健康な野菜作りで元気いっぱいグループです。（ボランティア募集中）

× ㄷ

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.



ボランティア！入門・活動・発展編

ここからのページは
ボランティア活動を
応援する

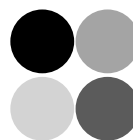
情報コーナーです

ボランティア
やってます！
の活動編

読みたいところを
開いてみて下さい！

ボランティア
やってみよう！
の入門編

ボランティア活動
ひろげたい！
の発展編の
3コーナー



ボランティアやってみようかな

ボランティア・・・難しそうって思いませんか？

- ・自分が役に立てるか分からない・・・
- ・何をすればいいのかわからない・・・
- ・自分に自信ないし・・・
- ・情報が少ない。どうやったらいいの？
- ・自分のことで精一杯！
- ・面倒くさい・・・



やってみたら！

- ・自分の価値観が変わっていくよ
- ・コミュニケーションの取り方の勉強になった。
- ・元気になれた！
- ・世界が広がる
- ・感謝の言葉もらった
- ・やり切った達成感、満足感
- ・地域のことが分かる
- ・人との出会いがある
- ・相手の気持ちを知ることができる



※尾道福祉専門学校生徒さんのアンケート回答より

ボランティアをやっている人に聞きました。

1年目

「参加したきっかけは？」



研修がありそれに参加しボランティア団体に入りました。まだまだ一所懸命なので、少しずつ理解していきたいと思います。

3年目

「続けてこられたのは・・・」



先輩と後輩たちの熱意に引きずられて、頑張ってみようという気持ちになれたこと。特に励みになったのは、利用者の方から喜ばれたこと。「ありがとう」の言葉でした。

10年目

「活動を振り返ってみて」

軽い気持ちで講習を受け、勢いでサークルに入りあつという間に10年が過ぎた。だんだん記憶力も悪くなり、年を感じている。ろうあ者の人々とコミュニケーションを図りたくて勉強始めて、友達も出来た。新しい人がサークルに入ってくれるとうれしい。

(手話サークルのメンバー)



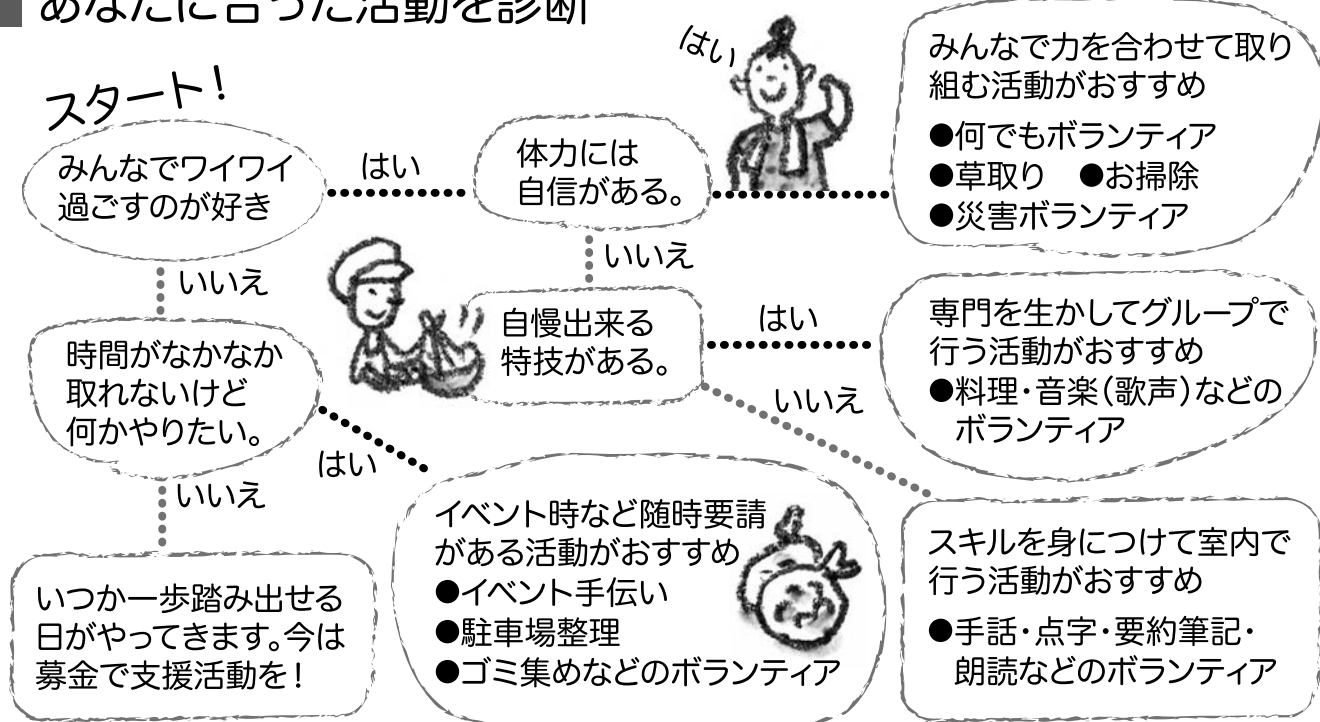
20年目

「ボランティアに対する想い」

あつという間の20年でした。ボランティアをさせていただいたお陰で私自身が学ぶことが大変多くあり、有難いことと感謝しています。



あなたに合った活動を診断



興味がある活動を一度のぞいてみよう

活動に興味があるグループ・団体・施設があれば現場に行き、一度見学や体験をして自分に合いそうかどうか肌で感じるのも有効な手段です。いくつか実際の活動現場に触れていくうちに、自分に合う活動先が見つかるでしょう。



ボランティア活動Q&A

①何から始めたら?



自分の関心あるボランティアの情報を集めましょう。ボランティア養成講座があれば参加してみましょう!

②技術や資格が必要?



ボランティア活動に取り組むために資格は必要ではありません。専門的な知識や技術が必要な活動もありますが、養成講座などで学ぶことができます。

③ボランティア活動のマナーは?



それぞれの善意の気持ちによって活動しますが、どうせボランティアだから・・・とルーズにならないように気をつけましょう。欠席の場合は連絡するなど社会的な責任を果たしましょう。

④どんなグループがあるの?



尾道市内にはいろいろなボランティア団体があります。P3~P21に各団体の活動内容が紹介されています。参考にしてください。



夏休み！ヤングボランティアスクール

～ボランティアを体験してみよう～



★ヤングボランティアスクールってなに？

夏休みに学生（小・中・高校・専門・大学）を対象に、尾道市内の高齢者・障害者（児）施設、保育所でのボランティア体験学習を行っています。体験を通して福祉に興味・関心を持っていただき、子どもたちの福祉理解を促す機会として、市内施設の協力を得ながら、毎年実施しています。



★どうやって参加するの？

ステップ①『毎年7月に尾道市総合福祉センターで開催される説明会に参加』

詳しい参加方法やボランティア活動保険への加入、ボランティアに対する心構えの説明を受けます。



ステップ②『ボランティア受入可能な施設から選択』

興味のある内容や施設を選びます。

（参考：2019年度受け入れ施設 高齢者：12施設 障がい者：12施設 児童：10施設）



ステップ③『尾道市社会福祉協議会へ連絡』

やってみたいボランティア体験が決まったら、参加希望先を伝えます。



ステップ④『体験したい施設へ直接連絡』

自分の名前や連絡先などを伝え、体験の申し込みをします。

★ヤングボランティアスクールの実績



施設 年度	高齢者施設 参加人数	障がい者施設 参加人数	児童施設 参加人数	その他(※) 参加人数	合計 (延べ)
2016年	1名	0名	12名	12名	25名
2017年	1名	2名	20名	18名	41名
2018年	豪雨災害のため中止			6名	6名
2019年	1名	9名	49名	10名	69名

※イベント時の託児体験

ボランティア活動やっています！

すでにボランティア活動を行っているあなた、活動はスムーズに進んでいますか？
ちょっと活動を振り返ってみましょう。



▲▲ 活動のチェックシート……当てはまるものに○をしてみましょう！

- | | | |
|-------------------------|----|-----|
| ① 新しい会員が増えている。 | はい | いいえ |
| ② 活発にメンバーが意見を交換している。 | はい | いいえ |
| ③ すぐに辞める人がいない。 | はい | いいえ |
| ④ 助成金などの情報が手に入りやすい。 | はい | いいえ |
| ⑤ 家族や周囲の人が活動を理解してくれている。 | はい | いいえ |
| ⑥ 活動を支援してくれる機関を利用している。 | はい | いいえ |
| ⑦ 会の活動資金の心配がない。 | はい | いいえ |
| ⑧ 他の団体や行政と連携して活動している。 | はい | いいえ |

合 計

はいが

個

いいえが

個

活動診断！！



「はい」が6以上…順調に活動が進んでいます！

「はい」が3～5…困っている事が解決するとますます活発に！

「はい」が2以下…たくさんのアイディアを取り入れてみよう！

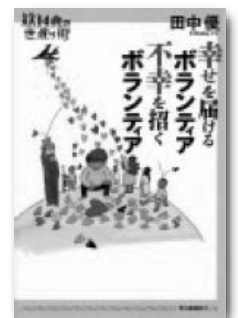
おすすめの書籍

「上を向いて歩こう！」
のぶみ:作絵 講談社



*絵本作家のぶみさんが東日本大震災直後の宮城県石巻市に入りボランティア活動を行った時を描いた異色のエッセイコミック。著者ののぶみさん曰く「人は苦しい時ほどホントが見えるよ。ボランティアはただで働く。お金はもらわないかわりに何が残るのか。僕はそのことを書きたかった。」

「幸せを届けるボランティア、不幸を招くボランティア」
田中 優:著 河出書房新社



*善意で取り組むボランティア活動も、独りよがりだと喜ばれないばかりか弊害を招くことも。ボランティアに対するあり方の本質を問う本。

前ページで「いいえ」と答えた項目は、
工夫のヒントを参考に!

① の工夫のヒント

- ◎関心のありそうな人に直接声を掛ける。
- ◎会の特徴をキャッチフレーズで表してみる。



② の工夫のヒント

- ◎会議の進行を交代で行う。
- ◎会議で一人一言話せるようにしよう。
- ◎会の中で役割分担をする。



③ の工夫のヒント

- ◎新人ボランティアをサポートする人を設ける。
- ◎フォローアップ研修を実施する。



④ ⑤ ⑥ ⑦ の工夫のヒント

◎ボランティアセンターを活用しましょう!

★尾道市ボランティアセンターでは、「福祉」のボランティアに関する相談の受付、情報提供を行っています。

詳しくは社協ホームページをご参照ください。

<http://onomichi-shakyo.jp/>

◎尾道ボランティアネットワークで仲間と交流しましょう。

★市内の各地域のボランティア連絡協議会から成り立ち、ボランティア同士の交流活動を行っています。具体的な活動内容はP.32をご参照ください。



⑧ の工夫のヒント

- ◎他の団体、行政と協働しよう!
協働については発展編で。



活動をどんどん広げたい!

自分たちの活動をもっと地域に広げようと思いませんか? 地域の人々や行政、企業などと協働で活動できたら幅が広がりそうです。「協働のまちづくり」に取り組むことを考えてみませんか?

「協働」とは?

いろいろな団体が、共通の課題を解決したり目的を実現するために、お互いを尊重しながら一緒に考え、対等な立場で協力して取り組むことを言います。

ボランティア・NPO・住民自治組織など



協同と協働の違いは?

協同



目的や手段、利害関係が一致している
集まり(農業協同組合など)

協働



目的や手段、利害関係が一致していない
多様な価値観を持った集まり

協働のまちづくりに取り組むと、どんなメリットがある?

その1...人脈が広がり、情報が増える。

その2...活動が魅力的になる。

その3...新しい参加者やメンバーが集まって来る。

その4...1つの団体では出来なかった活動が可能になる。

その5...地域での役割、存在が大きくなる。



尾道市は「協働のまちづくり行動計画」を策定しています。

「話し合い」「人づくり」「場づくり」の3つの方向性に沿って進めています。



例えば、市民と市(行政)のこんな「協働」例があります。

*参考文献:尾道市協働のまちづくり指針

市民

市民主体で活動

市民が主に活動している例

大浜区長会(晴耕雨読)

旧保育所を使って
まちづくり



【地域】 旧大浜保育所施設「大浜地域未来交流館」を拠点として町民の集える場を整備し、賑わいを取り戻すため様々なイベントを開催。

【行政】 相談に応じ自立性のある活動の側面支援。

NPO ゆめゆらい制作室

えがおでつながる
多世代交流



老若男女問わず様々な人が、気軽に集まることのできる場づくり。

【地域】 各自の特技や知恵を活かし、主体となって活動できるサロンを開催するなど、地域ぐるみで多世代交流。

【行政】 相談に応じ自立性のある活動の側面支援。

市民と市の協働

市民と市が協力して
企画・実行している例

Let's食育!御調グループ

地域で子どもの
「食べる力」を育てよう!



食育を進めるために親子調理実習体験などを企画

【地域・行政】

子育てサークル、社会福祉協議会、図書館、市(管理栄養士、保健師、子育て支援課)、食生活研究グループ、地域のボランティアグループが企画から実施までを一緒に行います。

企画段階から子育てサークルが関わることで、参加者のニーズにあった事業になります。



地域の情報交換の場にもなっています。



市が責任を持って行う

市(行政)

市が主導し、
市民が協力している例

リフレッシュ瀬戸内

海浜清掃で
美しい瀬戸内を守る!



【地域】 市民、町内会、企業、各種団体、市が一斉参加

【行政】 開催日の決定、広報、道具の準備とゴミ処理



大勢の参加があるからこそできる大規模清掃!

尾道灯りまつり

新しい町の魅力を創り出す



達成感を感じます!



尾道の新しい魅力に!

【地域】 各種団体、小中学校、尾道大学、町内会等がぼんぼりの絵付け・組み立て・設置・片付けをみんなで行います。

【行政】 参加者の連絡調整、必要なものの手配

「協働のまちづくり」に取り組もう！

より良い活動のために心掛ける10のコト。
きっと上手くいくはず。

計画するとき……………さあやってみよう！……………終わったら

- 1 解決したい課題に
合った団体に集ま
ろう。



- 2 お互いの活動を
よく知ろう。



- 3 活動内容をみんなで
話し合っ決めてよう！



- 4 役割分担は公平に。



計画するとき……………さあやってみよう！……………終わったら

- 5 話し合いをしながら、
よりよい活動になる
よう目指そう。



- 6 役割を進んで
果たそう。



- 7 みんな対等な立場で
取り組もう。



- 8 関係する団体を
巻き込んで進め
よう。



計画するとき……………さあやってみよう！……………終わったら

- 9 事業の成果をみんなで
話し合おう。

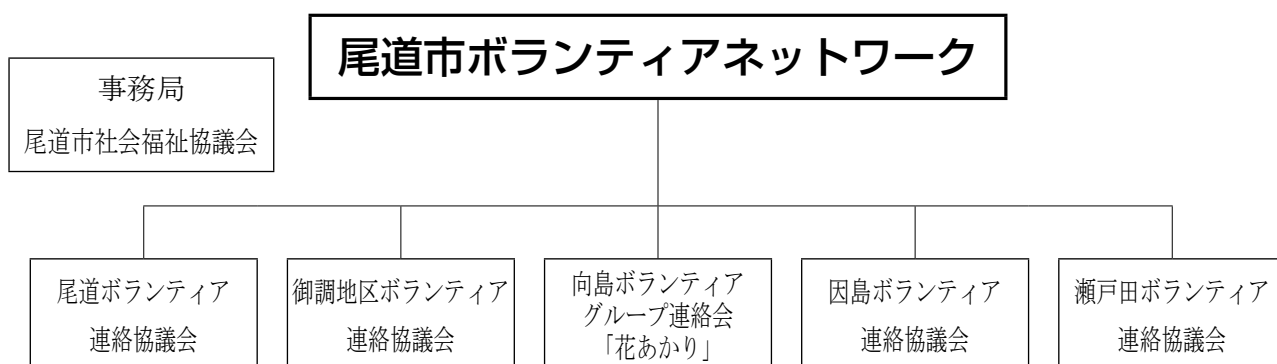


- 10 実施した内容の情報を
発信しよう。



こんにちは！「尾道市ボランティアネットワーク」です。

平成20年5月、それまで各地域（旧尾道、御調、向島、因島、瀬戸田）で運営されていたボランティア連絡協議会を統一し、尾道市ボランティアネットワークが発足しました。



1 目的

- ◎尾道市内のボランティア同士の交流活動を通じて、福祉意識の向上を図ります。
- ◎ボランティア活動を通じて、福祉のまちづくりを推進し、地域福祉の向上と啓発をめざします。

2 活動内容

- 研修会及び交流会（年4回）
- ボラネット交流会（隔年）
- グループごとの研修（随時）
- 地域行事、他団体の支援（随時）
- 役員会議の開催



お問い合わせ：尾道市社会福祉協議会 地域福祉課（ボランティアセンター）
Tel 0848（22）8385

尾道市ボランティアネットワーク規約

(名 称)

第1条 本会は、尾道市ボランティアネットワークと称する。

(組 織)

第2条 本会は、尾道ボランティア連絡協議会、御調地区ボランティア連絡協議会、向島ボランティアグループ連絡会『花あかり』、因島ボランティア連絡協議会、瀬戸田ボランティア連絡協議会で組織する。

(事務局)

第3条 本会の事務局は、尾道市社会福祉協議会（尾道市総合福祉センター内）に置く。

(目 的)

第4条 本会は、尾道市内のボランティア同士の交流活動を通じて、福祉意識の向上を図るとともに、ボランティア活動を通じて、福祉のまちづくりを推進し、地域福祉の向上と啓発を目指す。

(活動内容)

第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。

- (1) 総会・役員会の開催
- (2) 研修会及び交流会の開催
- (3) 各地域ボランティア連絡協議会相互の情報交換、課題共有を行う
- (4) 地域行事、他団体の支援活動
- (5) その他目的を達成するための活動

(会 員)

第6条 本会の会員は、目的に賛同し、第2条組織の加盟団体に属する者をもって構成する。

(役 員)

第7条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 理 事 8名

(役員を選出)

第8条 本会役員を選出は、次のとおりとする。

- (1) 各地域のボランティア連絡協議会より2名ずつ理事を選出する。
- (2) 会長及び副会長は、役員会において理事の中より互選する。
- (3) 総会の承認をもって決定する。

(職 務)

第9条 本会役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会 長 会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長 会長を補佐し、会長が事故等により職務を遂行できない場合、その職務を代行する。
- (3) 理 事 会務運営における業務全般に協力する。

(任 期)

第10条 本会役員の任期は、次のとおりとする。

- (1) 役員任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。
- (2) 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- (3) 役員の任期満了でも後任者が選出されるまではその職務を行う。

(会 議)

第11条 本会の会議は、総会、役員会とする。

- (1) 総会は年1回開催する。
- (2) 役員会は必要に応じて都度開催する。
- (3) 議長は会長が務める。

(その他)

第12条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は役員会が細則を定めることができる。ただし、総会の承認を得なければならない。

(附 則)

この規約は、2019年5月11日から施行する。



わが町探究隊 しまなみ編（視察研修）



おのみちボラネット交流会“2019”